

2022年度事業計画

少子化対策

保育園こども園（以下“園”と略す）の社会的役割を明確にし、子どもと地域を繋ぐコミュニティを確立できるよう働きかけていきます。園の子どもたちだけではなく、街に住む子どもたちと関わりを深めていくことから、園ができる幅広い子育てのサポートを考え提案してまいります。

弾力運用や子ども一人当たりの面積基準の在り方、子どもを取り巻く環境改善について協議し園の在り方を再度見直してまいります。しかし、園の経営悪化も招きかねない難しい課題です。運営と保育、どちらも一人歩きしないバランスの取れた改革を提案してまいります。

保育士確保と保育の質向上

横浜の保育のイメージアップを行い、充実した研修のもと、それに伴った保育の質向上を実施し、横浜の園でのキャリア形成によって、働く人のビジョンが明確になるようにします。少子化対策、保育士確保対策と保育の質向上、この3つのテーマを総括し、豊かな保育を提案していくことで、園の新しいイメージを作り上げることができます。

組織改革

会員数も大変多くなりました。各区の問題も多様化し、市の北部地域の問が、南部地域の問題としては認識できないことも多々あります。組織改革担当者を設置し、地区委員から園長会に各区の課題が伝わるよう、そしてその課題が、横浜市に届けられるよう配慮いたします。また、園長会で執り行う事業の担当者を2名ずつとし、各理事の負担も軽減できるようにいたします。会員の皆様にも担当者より報告が受けられるようにいたします。

会長、副会長 理事などの選出方法の明確化

コロナ禍によって推薦委員の選出から役員決定までの日程調整が難しくなりました。よって以下の草案を元に、役員を選出方法を明確化します。来年度の総会までに条例を取りまとめます。

以上